

留学体験談

プログラム名	交換留学プログラム：語学（2024 年度）
留学先	レスター大学（イギリス、レスター）
留学期間	2024 年 10 月～2025 年 3 月の約 6 か月間
学部学科/専攻 学年	工学研究科 建築学専攻 修士 2 年

私がレスター大学での語学研修に参加した理由は、英語のスピーキング能力を向上させるとともに、異文化を体験し、自らの視野を広げるためでした。これまでの英語学習では、主に文法やリーディングに重きを置いてきましたが、実際の会話においては自信を持てず、スムーズにコミュニケーションを図ることが難しいと感じていました。そのため、英語を日常的に使用する環境に身を置き、実践的なスキルを向上させたいと考え、この研修プログラムに参加しました。

留学中は、リーディングとリスニングの間に大きなギャップがあることに気づき、これまで日本で学んだ英語を一度リセットし、たとえ小中学生が使う単語や表現であっても、リンキングやリダクションを意識して日常的に英語を聴くよう心掛けました。ネイティブスピーカーの発音や表現方法を模倣することで、コミュニケーションが以前よりもスムーズになり英語力が飛躍的に向上したと実感しています。

また、特に留学中に印象に残ったのは、イギリスでは 100 年以上前の建物が今なお使用されていることが多いという点です。外観は古き良きヨーロッパの様式美で街を歩くだけでも楽しいのですが、同時に設備も古いがゆえに火災報知器が誤作動したり、セントラルヒーティングが故障し教室がずっと寒いまま授業を受けたりなど不便なことのほうが多かったです。このような体験を通じて、異なる文化に柔軟に対応する力を養い、寛容力が身についたと感じています。

今後はこの学びを、四月から始まる日本での仕事に活かしていきたいと考えています。特に、困難な課題に直面した際には、これまでの経験を踏まえて、柔軟な思考で解決策を見つけることが重要だと感じています。固定概念にとらわれず、新しい視点やアプローチを取り入れながら、より良い結果を追求していきたいと思っています。また、人と関わる上で、多様な視点や意見を尊重し、しっかりと自分の考えを伝えることで、円滑なコミュニケーションを図り、臨機応変に対応できるよう努力していきたいと考えています。